

令和8年度「かごしまの食」理解促進事業業務委託の質問事項への回答

	質問	回答
1	予算内訳の解釈について、契約上限額3,000千円の中に、学生等2校への支援経費（上限30万円×2校＝60万円）が含まれているとの認識で相違ないか。	学生等2校への支援経費（上限30万円×2校＝60万円）については、契約上限額3,000千円に含まれる。
2	予算削減の背景について、昨年度の約380万円から300万円に減額された理由として、業務の重点化（効率化）が期待されているのか、あるいは規模の縮小を想定しているのか。	令和8年度については、事業全体の予算状況を踏まえ、委託上限額を見直している。一方で、食育・地産地消の推進施策そのものを縮小するものではなく、限られた予算の中で事業内容や事業効果を精査した上で、必要な取組を実施することとしている。なお、「かごしまの食未来プロジェクト」については、実施箇所数を昨年度の3箇所から2箇所に見直して実施することとしている。
3	昨年度の企画で提案した際、特に評価が高かった点、および改善を求められた具体的なフィードバックはあるか。	昨年度の企画提案では、若い世代を対象としたプロジェクト内容の募集・選定から実践支援、研修会の実施、成果の発信・PRに至るまで、一連の流れについて具体性や実現性があり、事業効果の期待できる提案が高く評価された。また、プロジェクト活動に対する伴走支援の内容や研修会の構成についても、参加者の学びや実践につながる工夫が見られる企画書が期待されている。なお、会社の概要や強みの紹介にとどまり、事業内容に即した具体的な提案が不足している場合は、評価が十分に得られない傾向があった。
4	「かごしまの食未来プロジェクト」について、学生のターゲット層（高校、大学、専門学校）の中で、今年度特に重点的に募集をかけたい層はあるか。	学校種による重点化は想定しておらず、高校生、大学生、専門学校生など、県産食材や食育に関心のある若い世代の学生から、広く提案を募集し、その中から優れた提案を選定することとしている。
5	「かごしまの食未来プロジェクト」について、支援対象者の選定（2箇所予定）とあるが、地域的なバランス（例：鹿児島市内と離島・中山間地域）は考慮すべきか。	「かごしまの食未来プロジェクト」の支援対象者の選定については、まずは提案内容を重視し、県と協議の上、選定することとしている。地域的なバランスについては、必要に応じて考慮することを想定している。
6	「かごしまの食未来プロジェクト」について、専門家の派遣：専門家への謝金は、県の規定（例：1回あたり〇〇円）に準ずる必要があるか、あるいは提案側の見積りに委ねられるか。	専門家への謝金については、県の規定に準じた単価を参考としている。ただし、講師側の規定や依頼条件等により、別途定められた金額での支出が必要な場合は、その金額で支出して差し支えありません。
7	「食育人材育成研修会」について、宿泊研修の宿泊費及び食事代は、委託料（300万円）の中にも含める必要があるか、あるいは参加者実費負担とすべきか。	「食育人材育成研修会」については、2日間の研修を予定しているが、宿泊を伴う実施は想定しておりません。1日目は座学研修（参加者は現地集合・現地解散）、2日目の現地研修については、当委託において大型バスを借上げ、参加者が乗車することを想定している。なお、自家用車で現地参加も可能としている。このため、宿泊費は想定しておらず、食事代については、参加者の実費負担としている。
8	「食育人材育成研修会」について、現地研修の受け入れ先：（過去に活用実績のある農家や法人のリスト）は提供されるか、あるいは新規開拓を提案すべきか。	「食育人材育成研修会」の現地研修の受入先については、新たな開拓も含め、県と協議の上で選定・決定することとしている。また、県が有する情報については必要に応じて共有しますが、リストとして提供することは想定しておりません。

	質問	回答
9	「食育人材育成研修会」について750か所の発送先リスト： 県から提供されるリストの属性（教員、企業等の内訳）を事前に把握することは可能か。	「食育人材育成研修会」に係る発送先リストについて、昨年度は食育支援者約180か所への発送を委託業者へお願いしており、その他約570か所については県からメールで周知を行っている。 なお、委託決定前の発送先リストの事前共有はできませんが、委託決定後は、発送対応をお願いする食育支援者リストについては共有予定である。 今年度に委託業者へ発送対応をお願いする件数については、昨年度と同程度を想定している。
10	広報用のSNSアカウントの使用について、県が保有する既存のSNSアカウントを使用するか、あるいは事業専用のアカウントを新規に立ち上げるべきか。	広報用のSNS活用については、県ホームページや県公式LINEでの広報を県でも実施する予定であるため、その際に使用する広告用チラシや開催要領等の作成をお願いしたい（必須事項）。また、Instagram広告やGoogle広告など、実施する広報内容によっては、県以外の専用アカウントが必要となる場合も想定されることから、必要に応じて、ターゲット層への訴求効果も踏まえた効果的な広報手法について提案いただきたい。
11	広報でのメディア連携について、過去にKYT（鹿児島読書テレビ）等との連携があったが、特定のメディアとのタイアップが、推奨されるか。	広報におけるメディア連携については、特定のメディアとのタイアップを必須又は推奨するものではありません。事業の効果的な周知につながる広報手法を提案してください。
12	独自提案の方向性について、県が現在、食育に関して抱えている最も切実な課題（例：若者の朝食欠食、塩分摂取過多等）があるか？	食育に関して抱えている課題は、若い世代を始めとして食への関心の低下が見られるほか、地域においては食育ボランティアなど食育支援者の高齢化や減少が懸念されている。また、食と農のつながりが希薄化しており、県産農産物を意識して購入する県民の割合が目標に達していないことから、食への理解促進と行動への結び付けが課題となっている。これらにより、大学生などの若い世代への理解促進と「大人の食育」の推進が重要となっている。
13	企画提案書等の作成枚数について（実施要領 9-(1)） 「全5頁以内で作成すること」との記載があるが、この制限の中に「タイトル（表紙）」や「目次」は含まないという認識でよいか。	「タイトル（表紙）」及び「目次」については、企画提案書の枚数制限（全5頁以内）には含まれません。
14	追加提案の頁扱いについて（実施要領 9-(4)） 追加提案を1頁で作成する際、こちらは上記(1)の「全5頁」には含まず、追加提案がある場合は「計6頁（5頁+追加1頁）」となっても問題ないでしょうか。	追加提案については、実施要領 9-(4) に基づき、別途1頁で作成すること。 そのため、追加提案を提出する場合は、企画提案書本体5頁以内とは別に、追加提案1頁を加えた「計6頁」として差し支えありません。
15	プロジェクト活動の実践支援における費用負担（仕様書4-ウ）について、「1プロジェクト当たり30万円を上限」としている実践支援費は、成果発表会までの活動に要する経費一式を対象とするとの認識でよろしいか。 また、具体的には、参加生徒等の会場までの交通費、成果発表会用の試食・販売用の材料費、調理・運営等に係る人件費、外部専門家への謝礼金、協力店舗への協力金等についても、当該実践支援費から支出可能との認識で相違ないか。	「1プロジェクト当たり30万円を上限」としている実践支援費については、原則として、各プロジェクトの実施から成果発表会までに要する経費を想定している。具体的には、商品開発用の試作のための材料費、成果発表会での試食用の材料費、参加生徒等の会場までの交通費、外部専門家への謝礼金、協力店舗への協力金など、事業実施に直接必要な経費であれば、実践支援費から支出して差し支えありません。 なお、調理補助や当日の運営補助等、プロジェクト実施に直接必要な人件費・運営費についても対象になるが、必要最小限の範囲とし、実践支援の趣旨を踏まえ、委託事業者の運営費や人件費に過度に充当されることのないよう留意すること。 成果発表会については、開発商品等のPRや、若い世代を含めた一般県民に広く活動を周知することを想定しており、必要に応じて試食等を実施することは差し支えないが、販売・収益を目的とした実施は想定していない。 経費の支出については、事業目的や内容等を踏まえ、随時、県と協議の上、適切に対応すること。

	質問	回答
16	<p>プロジェクト活動の成果発表会及び表彰式の評価基準とKPIについて（仕様書 4-エ-(エ)）、以下の点をご教示ください。過去実績のように、商業施設等の不特定多数が集まる場所での開催を高く評価されるのか。 目標集客人数など、本業務において求められる具体的なKPI（重要業績評価指標）は設定されているのか。</p>	<p>成果発表会及び表彰式の開催場所について、商業施設等の不特定多数が集まる場所での開催を必須としているものではない。 本業務において、成果発表会等に関する具体的な集客人数のKPIは設定していないが、昨年度と同程度の参加者数（約90人）を確保できるような工夫や広報を期待している。 一方で、プロジェクト全体としては、若い世代を含めた幅広い県民への効果的なPRや情報発信につながる提案や、取組内容を効果的に発信するための工夫については、企画内容の一つとして評価対象となる。 仕様書の目的を踏まえ、事業効果が期待できる実施内容を提案してください。</p>